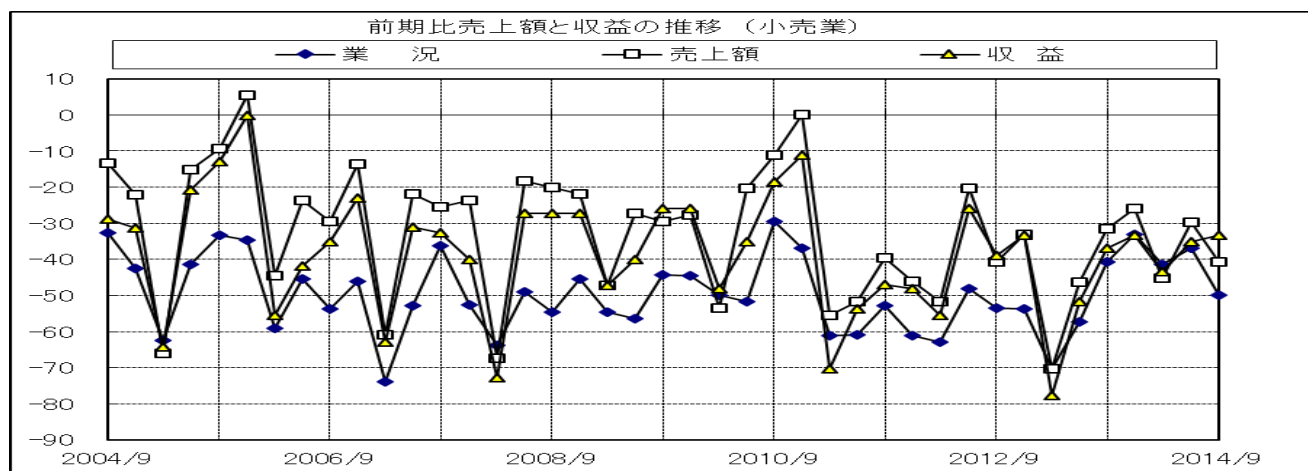


小 売 業 54 企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
業 況	-41.5	-37.0	-49.9	-35.1
売上額	-45.3	-29.7	-40.7	3.7
収 益	-43.4	-35.2	-33.3	0.1

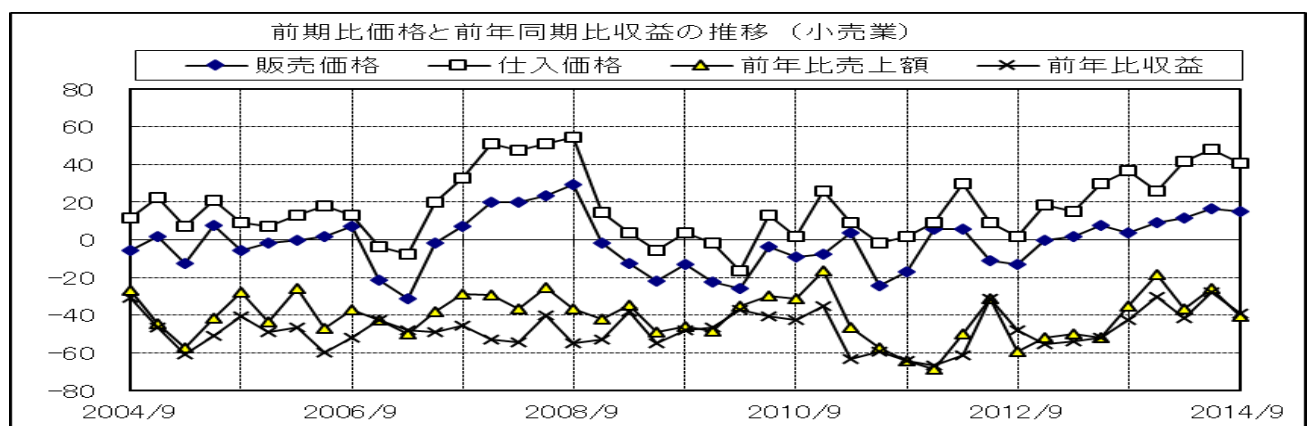
今期の業況判断DIは△49.9と、前期比12.9ポイント下降した。地区別のDIは高い順に、様似、広尾、えりも・静内が同水準、三石、浦河の順となった。業況判断DIは、前年（△40.7）比9.2ポイント下降した。売上額判断DIは△40.7と、前期比11ポイント下降した。一方収益判断DIは△33.3と、前期比1.9ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
販売価格	11.4	16.7	14.8	22.1
仕入価格	41.5	48.1	40.7	29.6

販売価格判断DIは14.8と、前期比1.9ポイント下降した。仕入価格判断DIは40.7と、前期比7.4ポイント下降、価格上昇基調を弱めた。販売価格は前年（3.6）比で11.2ポイント上昇。仕入価格は前年（36.9）比3.8ポイント上昇した。業種別には衣料品で販売価格・仕入価格ともに上昇、食料品は販売価格・仕入れ価格ともに下降した。家電品は販売価格が下降、仕入価格は横ばいとなった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
残業時間	-17.0	-20.4	-9.3	-1.8
人手状況	-15.1	-5.6	-11.2	-13.0

残業時間判断DIは△9.3と、前期比11.1ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断DIは△11.2と、前期比5.6ポイント下降し、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

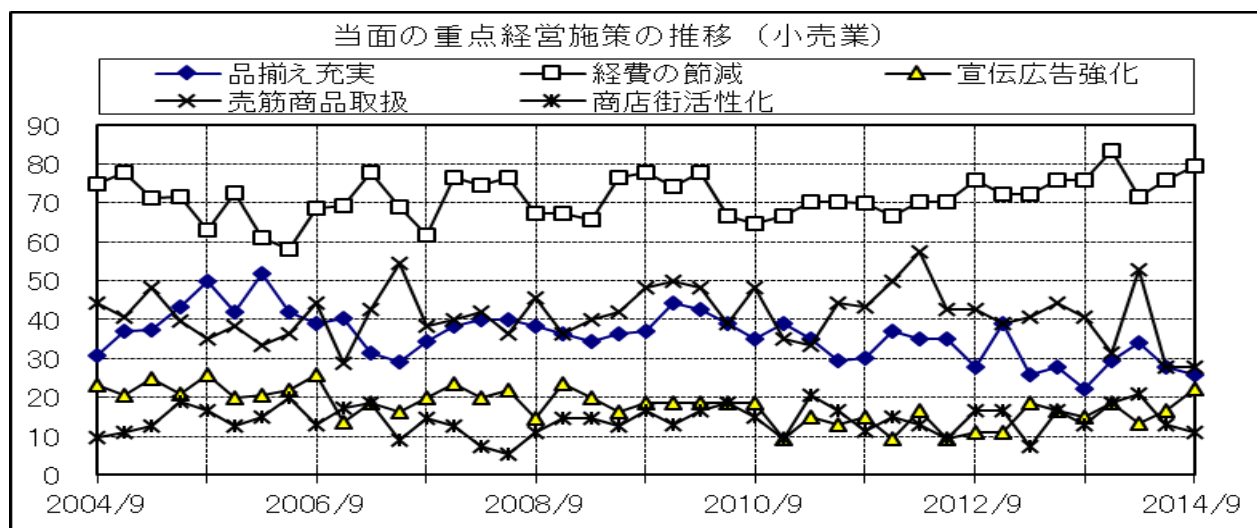
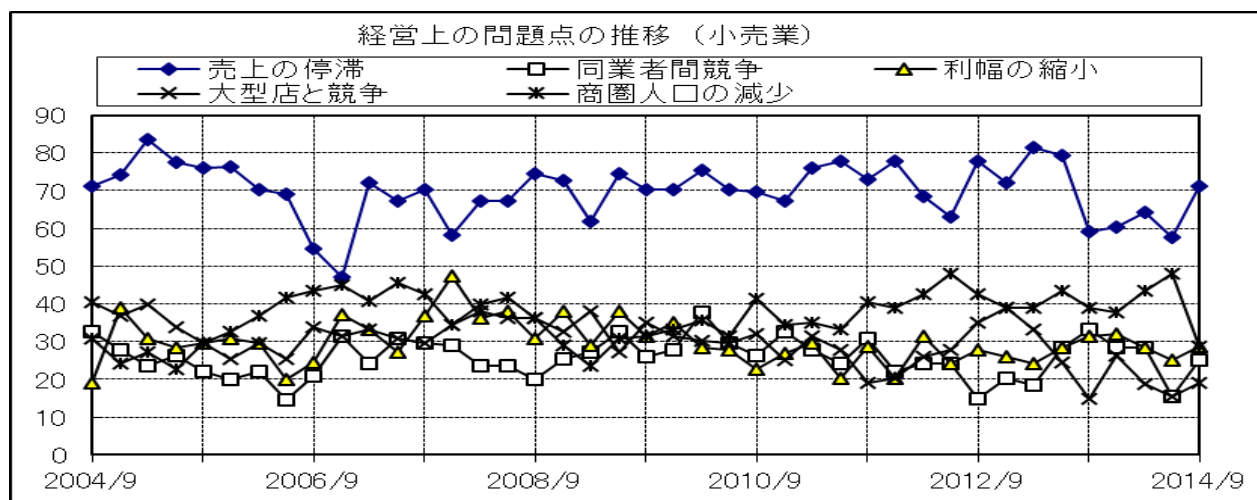
設備投資の充足感を示すD Iは△7.4と、前期比1.8ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は7.4で、前期比1.9ポイント下降、前期の5社に対し4社の実施となった。来期の設備投資は、今期と同じ4社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ71.2%、次に「利幅の縮小」、「商圈人口の減少」が同率の28.8%、「同業者との競合」が25.0%、「値上げの要請」が21.2%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ79.6%、次いで「売れ筋商品取扱い」27.8%、「品揃えを改善する」25.9%で続いた。「宣伝広告の強化」は22.2%となった。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△35.1と、今期比14.8ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D Iは3.7と、今期比44.4ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D Iは0.1と、今期比33.4ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D Iは22.1と、今期比7.3ポイントの上昇を見通している。

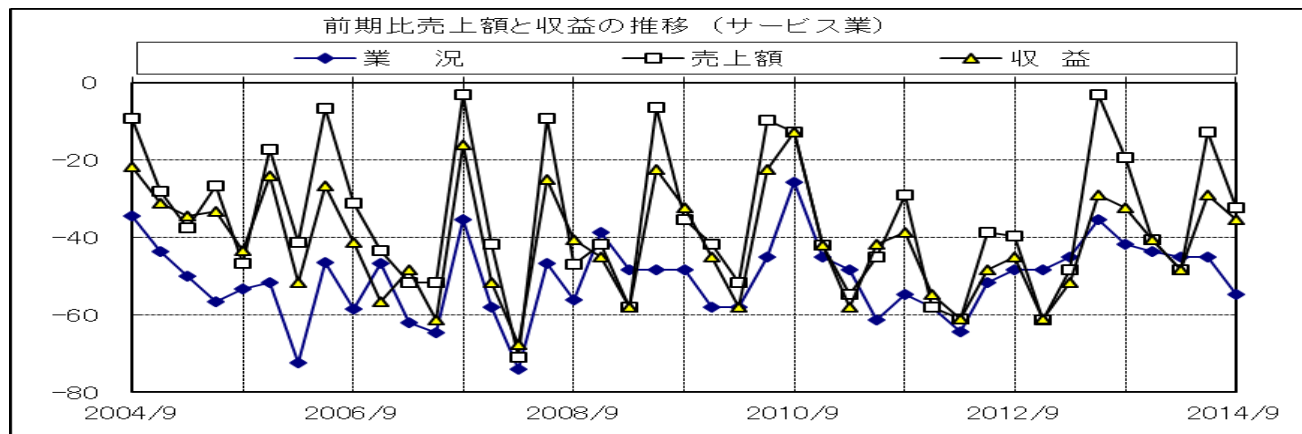
予想仕入価格判断D Iは29.6と、今期比11.1ポイントの下降を見通している。

サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
業 況	-45.2	-45.1	-54.8	-38.7
売上額	-48.4	-12.9	-32.3	-16.1
収 益	-48.4	-29.0	-35.5	-12.9

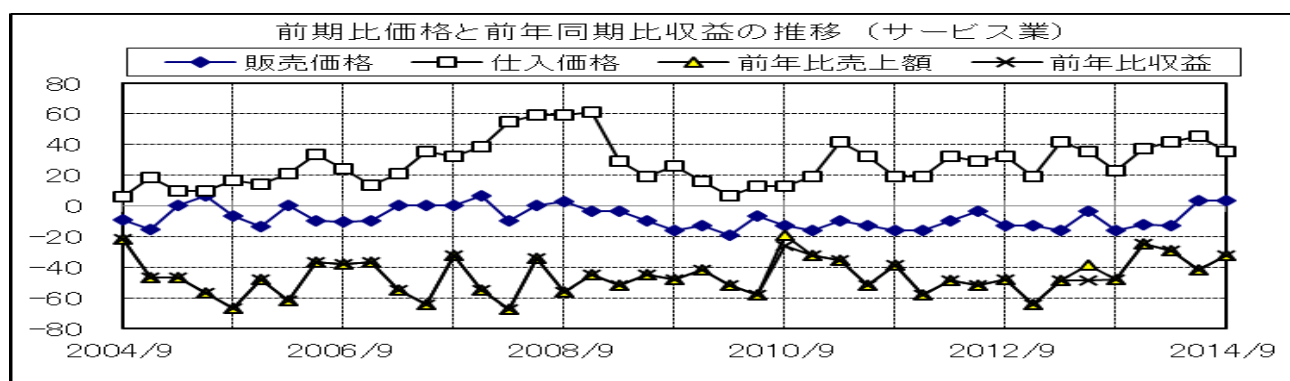
今期の業況判断DIは△54.8と、前期比9.7ポイント下降した。地区別のDIは高い順に、えりも、浦河、静内・様似・広尾は同水準で並び、三石は最も低い水準となった。前年（△41.9）比では12.9ポイントの下降となった。売上額判断△32.3、収益判断△35.5は前期比19.4、6.5ポイントともに下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
料金価格	-12.8	3.3	3.2	6.4
材料価格	41.9	45.2	35.5	32.3

料金価格判断DIは3.2と、前期比0.1ポイント下降した。材料価格判断DIは35.5と、前期比9.7ポイント下降した。料金価格は前年（△16.1）比で19.3ポイント上昇、材料価格は同比12.9ポイント上昇した。業種別にみると旅館業・洗濯理容業は、料金価格、材料価格とも下降。自動車整備業は料金価格で上昇、材料価格で上昇基調が弱まった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
残業時間	-16.1	-22.7	-13.0	-12.9
人手状況	-6.5	0.0	-12.9	-16.1

残業時間判断DIは△13.0と、前期比9.7ポイント上昇、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断DIは前期のゼロ水準から、12.9ポイント下降し人手不足感は強まった。

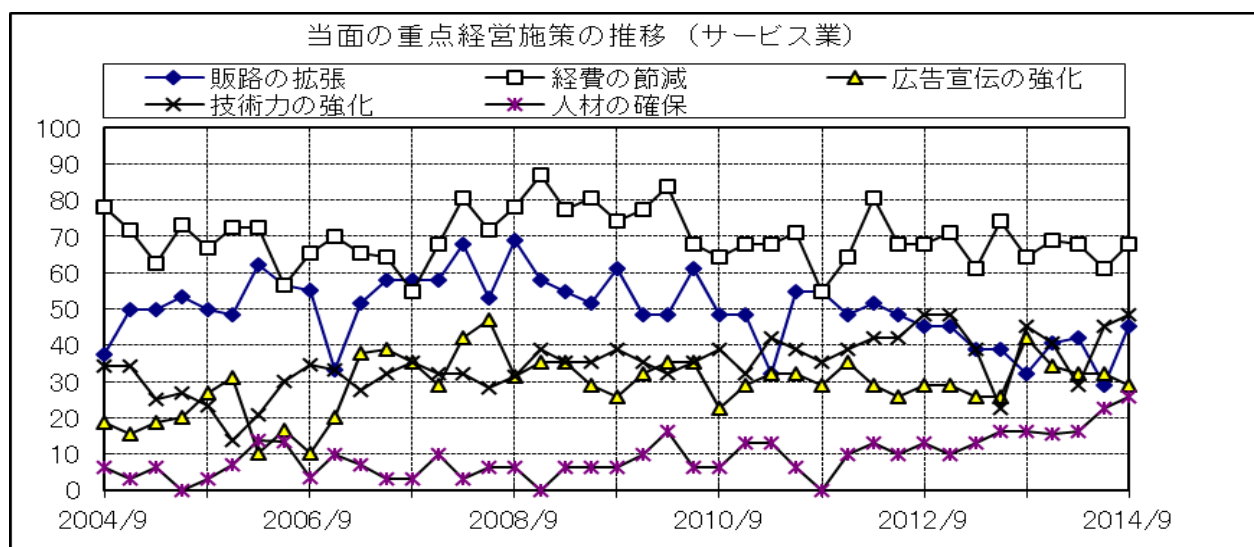
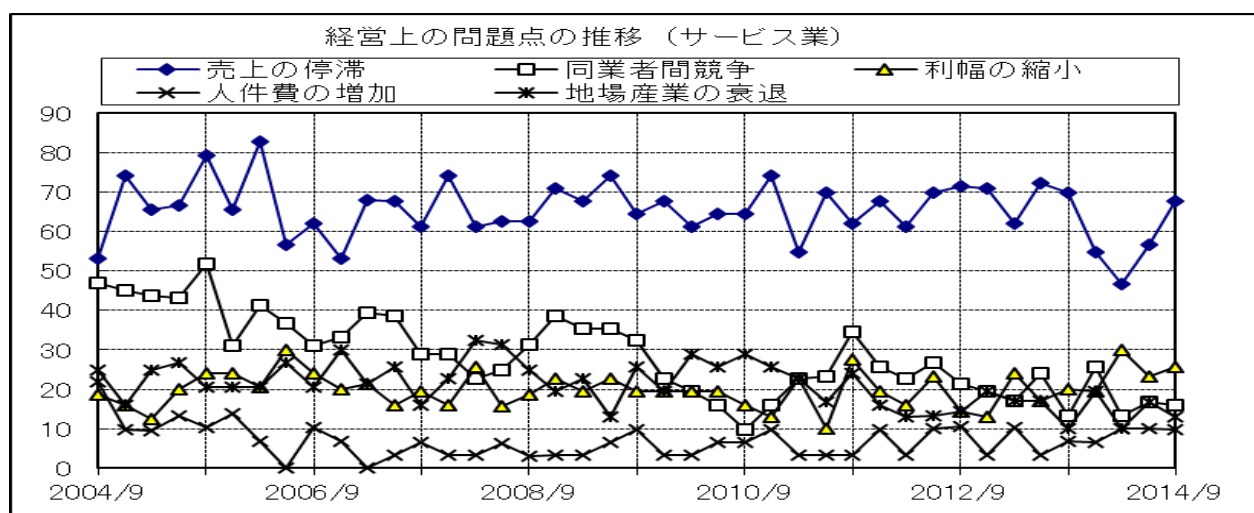
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは△19.4と、前期比12.9ポイント下降し不足感を強めた。
設備投資実施企業割合は29.0で前期と変わらず9社の実施となった。
来期の設備投資は、6社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ67.7%、次いで「商圈人口の減少」38.7%、「材料価格の上昇」35.5%、「利幅の縮小」が25.8%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ67.7%、次いで「技術力を強化する」が48.4%、「販路を広げる」45.2%、「宣伝広告の強化」29.0%の順となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△38.7と、今期比16.1ポイントの上昇を見通している。
予想売上額判断D Iは△16.1と、今期比16.2ポイントの上昇を見通している。
予想収益判断D Iは△12.9と、今期比22.6ポイントの上昇を見通している。
予想料金価格判断D Iは6.4と、今期比3.2ポイントの上昇を見通している。
予想材料価格判断D Iは32.3と、今期比3.2ポイントの下降を見通している。